

※インターネット「はらまち九条の会」で、「九条はらまち」の全号を見ることができます。



九条はらまち

「はらまち九条の会」ニュース No. 9 2
2009(平成21)年2月25日(水)発行

菅原道真すがわらみちざね(845~903)

菅原家家紋の梅鉢



平安時代の845(承和12)年6月25日生まれ。幼少時から漢学の才能で知られ文章博士もんじょうはかせという学者で詩人。醍醐天皇の時に右大臣となるが、左大臣藤原時平の讒言ざんげんで901年1月25日九州の太宰府に左遷され、失意のうちに2年後の903年2月25日、58歳で没した。ところがその後京の都では、落雷や日照りや疫病も流行。また藤原一族にも次々と災難が襲い、時平も29歳で急死する。朝廷ではこれは道真のたたりと恐れ、その霊を鎮めるため、雷神の「天神様」として全国各地で祭られ信仰されるようになりました。現在では学問の神様として「天神様」は、太宰府天満宮や京都の北野天満宮、湯島天神など、全国に一万二千社もあり、道真の誕生日・左遷の日・命日の「25日」が縁日となっています。

○東風こち吹かば匂ひおこせよ梅の花 主あるじなしとて春を忘るな

再「非核宣言」の要望書を市議会議長と市長さんに提出



合併後の南相馬市は「非核宣言」を行っていませんが、昨年12月市議会での質疑応答をうけて、2月16日、市内4つの「九条の会」では<下記>のような要望書を提出しました。3月議会での「宣言」の議決とを皆さんで見守りましょう。(「九条はらまち」No.76・81・85・89参照)

「核兵器廃絶平和宣言」を改めて行うことに関する要望書

1985(昭和60)年12月23日、旧原町市は「核兵器廃絶平和宣言」、いわゆる「非核宣言」を行い、南相馬市市庁舎前庭には「核廃絶宣言都市」の看板が掲げられております。また旧小高町・鹿島町においてもそれぞれ「非核宣言」を行ない今日に至っておりますが、3年前に上記三市町は合併しました。そのため新市南相馬市としては残念ながら無宣言都市となっております。

昨年12月の南相馬市議会中、ある議員の質問に対し「日本国憲法・教育基本法の平和主義の理念、人権の尊さを学ぶ意識から、非核三原則を含めた平和教育を推進する必要がある」との教育長のご答弁を知り、深く感銘を受けた次第です。これは64年前の太平洋戦争末期、アメリカ軍による激しい空襲をうけ、甚大な被害と悲惨な犠牲者をだした当市の歴史を踏まえたものであり、二度と戦争を起してはならないという大多数の市民の思いと重なるものと確信しております。

しかしながら国際社会の現状をみると、ご承知のように各地で紛争が続いており、様々な新兵器が使用され、多くの一般市民にまで甚大な被害が及んでいるという報道が氾濫しております。また、国によっては、新たな核兵器開発や製造に手を染めているとの情報もあり、このままでは、再び核兵器が使用されるという悲劇が起こり得ないと断言することはできません。

私たちは、党派をこえて戦争放棄の憲法九条を護るという一点に主眼をおいて活動しておりますが、日本国憲法の理想とする世界平和を実現するため、また七万一千の南相馬市民の平和に生きる「生存権」を守るため、まずその第一歩として核兵器の廃絶を実現しなければならないと考えます。

現在「核兵器廃絶平和宣言」は、全国の1,852自治体のうち1,495(81%)が、福島県の60自治体でも41市町村(68%)が行っております。南相馬市においても、次代を担う青少年とともに、世界の平和を求め日本国憲法を遵守する決意を新たに、改めて「核兵器廃絶平和宣言」を行うよう、市民の一員として強く要望いたします。

更には広島、長崎両市と手を携えて世界に向けて「核廃絶」を強力に発信できるよう、「日本非核宣言自治体協議会」への加盟とそれにともなう積極的な取り組みを要望するものであります。

2009(平成21)年2月16日

南相馬市市長 渡辺一成様
南相馬市議会議長 小林チイ様

はらまち九条の会(原町区) 代表 平田慶肇 印
小高九条の会(小高区) 代表 佐藤鶴雄 印
鹿島九条の会(鹿島区) 代表 相良正巳 印
相双地区教職員九条の会 代表 加藤憲男 印

これからの他「九条の会」活動

「パレスチナ・ガザ地区」講演と映画の集い

主催：県立高教組 後援：「はらまち九条の会」
 ・2月28日(土) 午前10:00~12:30
 ・会場：原ノ町駅前 ロイヤルホテル丸屋
 ・講演：演題「NGOの活動を通してみた
 入場無料」 「パレスチナ・ガザ地区」
 講師：藤屋リカさん(日本国際ボランティアセンター・パレスチナ担当。04年ガザ侵攻を)
 ・映画：「レインボー」(上映41分。04年のガザ侵攻を詩情豊かに描いた)

「立川志らく」独演会

ゲスト松元ヒロ(元ニュー・ジャーナリスト。一昨年、本会主催でソロライブを開催。「はらまち九条の会」会員)
 ・3月9日(月) 開演19:00
 ・いわき芸術文化交流館アリオス小劇場
 ・全席指定¥3,000 (予約0246-22-5800 アリオスチケットセンター)

事務局より

**「はらまち九条の会」
 総会・講演会は4月19日(日)**

お気軽に誘いあわせてご出席ください!
 小森陽一講演会は広く全県に呼びかけています
 ○当日の日程・内容はNo.90をご覧ください。

- ◆事務局へ招待状が届き、2月7日、JR東労組の「働く者の人権相双地区集会」に参加しました。早くから憲法や9条堅持の活動をされていて呼びかけ人代表の水井清光さんのご挨拶、えん罪のJR浦和電車区事件の訴えなど、二・三十代の若い男女が多い80名の参加で、会場の原町区労働福祉会館2階は満杯でした。「はらまち九条の会」のニュースを配布し、5分間の本会のPRの挨拶をしたところ、小冊子『憲法』が45冊も売れました。「はらまち九条の会」に入会される方を期待しています。
- ◆「相双地区九条の会の事務局会」を3月27日(土)、南相馬市文化センター1階で開催し、「堤未果さん講演会」や今後の活動の連携などを話し合う予定です。
- ◆麻生内閣の情けない迷走に対し、2月15日エルサレム賞授賞式での村上春樹さんのガザ攻撃批判に感動しました。ささやかですが「はらまち九条の会」も1月、抗議ハガキを送りましたが、沈黙は是認と同じで発信が大事ではないか!
- ◆「九条はらまち」の日付が記事と前後して矛盾していることもあります。日付に関わる事件や人物へのこだわりのためです。ご容赦の程。「2月号発行」程度に受け止めてください。

◇事務局員を募集しています。自薦でも他薦でも、現事務局員に連絡をお願いします。

「はらまち九条の会」事務局員連絡先 (市外局番は TEL0244)

- 平田慶肇会長 TEL24-1211
- 山崎健一事務局長 TEL22-8631
- 石田賢二 TEL22-4037
- 井上由美(会計) TEL22-7511 FAX26-0892
- 早坂吉彦 TEL22-0326
- 番場恵子 TEL22-0715

●事務局住所(〒975-0014 福島県南相馬市原町区西町3-53-2 山崎宛)

高遠菜穂子さん講演会

「9条語って恐怖越えたい イラク人質事件から4年」
 ・5月10日(日) 14:00~ いわき駅前ラト76F

堤未果(つづみみか)さん講演会

主催：福島県九条の会
 ・5月24日(日) 午後1:30~4:15
 ・会津若松市 会津園雅堂
 ・演題：「貧困大国アメリカの未来
 ~真のチェンジをおこすものとは~」



これまでの「県九条の会」主催の講演会は、澤地久枝・井上ひさし氏など福島市で開催していましたが、今年は連携して大変活発な活動を行っている会津地区での開催です。

アメリカ経済の破綻 その罪の大きさ

岩波新書のベストセラー (735円)

堤未果著「ルポ貧困大国アメリカ」を読んで



オバマ大統領が大きな期待の中、誕生しました。リンカーン大統領が宣誓した聖書に新たな誓いをたてたそうです。そもそも、資本主義の基本には「片手にそろばんを持ち、もう片方にバイブルを抱える」と言われ、それによって資本主義が発展してきたのに、肝心の「バイブル」はどこに行ったのでしょうか。

アメリカは巨大な格差社会

いま、アメリカでは独善的な考え方が強くなりすぎ、寛容で健全な理想主義が息づいている社会から、「国家」という視点ばかりが重視される社会になっているのではないのでしょうか。実際には、国家主義的な色彩が強いように思えるのです。高度な金融技術を発達させ、世界に冠たる資本主義国家として世界をリードしてきたその裏で、膨大な貧困層を生み落としてきた。この書は、多くのデータと証言でアメリカの現状を伝えている。自由と民主主義の国アメリカはただの看板だったのか、と思えるような格差社会を生む現実が語られている。



「大事なもの」として著者が挙げるのは、「暮らしや命を支えるシステム」、主権在民の武器である「憲法」、そして国の宝物である「若者の未来」だ、と。

『憲法』は政府にブレーキをかける最強の武器

どうすれば人間的な社会を守り育てていけるか。人間が人間として誇りを持って幸せに生きるために書かれた「憲法」は、どんな理不尽な力がねじふせようとしても決して手放してはいけない理想であり、国をおかしな方向に誘導する政府にブレーキをかけるために私たちが持つ最強の武器でもある。作者の思いはそのまま私たちの活動の力となつてこよう。言葉を発し続けることの大切さは『戦争と言葉』の著者加藤周一さんの遺訓でもある。

(事務局 石田賢二)

